

講義区

科目名：惑星形成

講義主題：惑星形成の過程を理論・観測の両面から俯瞰する

担当者：片岡章雅

概要：

惑星形成とは、ミクロンサイズのダストが付着成長し数千キロメートルサイズの惑星を形成する過程である。この分野は特に ALMA 望遠鏡を中心として 2015 年頃から劇的に発展し、現在は ALMA の結果を無視して研究をすすめることは困難といっても過言ではないほどとなっている。一方で、このような最新の内容は教科書として反映されるには時間がかかり、なかなか通常の講義には反映されづらい。本講義では、最新の観測結果を含めた上で惑星形成の理解と今後の課題を俯瞰的に眺めることを目標とする。

達成目標：

- ・惑星形成における物理過程の概観を理解する
- ・原始惑星系円盤の最新の観測について学ぶ

受講要件等：

特になし

履修上の注意：

特になし

授業計画：

- ・スライドを使用し、惑星形成の過程を理論・観測の両面から解説する。

参考文献：

- [Astrophysics of Planet Formation, Philip J. Armitage](#) (著)
- 惑星形成の物理 一太陽系と系外惑星系の形成論入門一 (基本法則から読み解く物理学最前線 6), [井田 茂](#) (著), [中本 泰史](#) (著), [須藤 彰三](#) (監修), [岡 真](#) (監修)